

公益社団法人 私立大学情報教育協会

社会福祉学、英語教育学、法律学、社会学、教育学、統計学、情報教育、
体育学、政治学、国際関係学、コミュニケーション関係学、経営学、経済学、会計学、
心理学グループ

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

オンライン開催

1. 開催趣旨

変動が激しく不確実で、予測できない複雑な問題を抱える現代社会では、これまでの常識が通用しなくなるとも言われており、学生には新しい物事や変化そのものに適応する能力が求められています。

それには、教育のDX化を後戻りさせない中で、学生一人ひとりの能力を伸長する個別最適な授業と、対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた問題発見・課題解決型教育(PBL)の推進普及が急がれます。

そこで本協会では、大学教員を中心とした分野連携によるアクティブ・ラーニングの対話集会を通じて、昨年度議論したテーマ（「学修者本位の授業実現」、「問題発見・課題解決型(PBL)授業の理解促進と推進・普及」、「教員の意識啓発の促進」、「生成 AI の取扱い」）を踏まえて、ICT(情報通信技術)や生成 AI などを活用した学びの質向上に向け、参加教員によるグループ討議を通じて意見交流を行い、問題意識の定着と改善策又は解決策を整理して、各大学における学びの質的転換に資することを目指しております。

2. プログラム

(1) 開催趣旨の説明

(2) 話題提供：意見交流のテーマに関連する事例の紹介(但し、「教員の意識啓発の促進」を除く)

※ 学修環境を革新する次世代 LMS

青山学院大学 社会情報学部教授 宮川 裕之氏

※ オンラインも対面も Teams と LMS で反転授業

名古屋学院大学 経済学部長、教授 児島 完二氏

※ 実務・研究を教育に繋げる PBL

麗澤大学 工学部准教授 塚田 義典氏

※ アクティブラーニングにおける生成 AI の活用と授業デザイン

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構
特任准教授 中澤 明子氏

(3) 意見交流 (グループ別討議の後、全体討議を行います)

① 学修者本位の授業実現

* 「学修者本位の授業を効果的に実現するにはどうすればいいのか」、LMS 等で理解度・成長度を把握して個別に学修指導する最適化の取組みについて、課題を整理して改善策、解決策の方向性を見出します。また、反転授業の取組みについて、課題を整理し、改善策又は解決策を例示します。

② 問題発見・課題解決型(PBL)授業の理解促進と推進・普及

* 「問題発見・課題解決型 PBL 授業の重要性を共有し、推進・普及していくにはどうしたらいいのか」、課題を整理し、改善策又は解決策の方向性を見出します。

③ 教員の意識啓発の促進

* 上記①、②の授業改善を組織的に進める意識啓発の対策として、学長・学部長によるガバナンスの下で教員全員が参加する FD の仕組みを構想します。また、多くの教員に関心を誘発する方法として、FD に学生が参加する仕組みの課題と期待される効果を整理します。

④ 生成 AI(ChatGPT など)の取扱い

* 学生が社会で生成 AI を使いこなすことができるよう、大学としての課題と考えられる方策を整理します。また、生成 AI 使用を前提とした学修評価の課題と考えられる方策を整理します。

(4) 総括

実現可能性の観点から 4 テーマの改善策又は解決策を整理し、提示します。その上で学びの質的転換に挑む覚悟などを共有します。

3. 参加対象者：私立の大学・短期大学教員

4. 開催日時：令和6年12月23日(月) AM9:00~PM0:30

5. 会場：オンライン(Zoom 使用)による開催とします。なお、申込者には、対話集会視聴方法等について、申込書に記入いただいたアドレスに12月20日(金)にメールでお知らせします。

6. 定員：70名(先着順で受け付けます)

7. 参加費：無料

8. 資料の配信

話題提供の「発表資料」を12月23日の午前8時30分に以下のページに掲載します。

<https://www.juce.jp/senmon/active/>

申込者は、受付後お知らせする「参加IDとパスワード」を入力することでご覧になれます。

9. 参加申込

別紙申込書に必要事項を記入の上、メール添付又はFAXにて**令和6年12月14日(土)まで**に申し込み下さい。なお、申込締め切り後でも受け付けることがありますので、事務局にお問い合わせ下さい。

メール送信先：info@juce.jp FAX送信先：03-3261-5473 TEL：03-3261-2798

10. その他

12月23日(月)終了後、参加者には12月26日(木)、27日(金)の2日間、対話集会の開始から終了までの録画を閲覧できるようにします。また、意見交流による課題等の整理は、後日改めて文章で本協会のWebサイトに掲載する予定にしています。